

## 茅ヶ崎市自立支援協議会 報告書

件 名	第 1 回 就学後の相談のしくみ部会定例会
日 時	令和 6 年 5 月 7 日（火） 10 時 00 分～12 時 00 分
場 所	茅ヶ崎市役所 分庁舎 5 階 F 会議室
事 務 局	相談支援センター つみき
出 席 者	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 譲原 充司 （部会長：つつじ学園 かめっこ）  <input checked="" type="checkbox"/> 堀内 利紀 （教育センター 青少年教育相談室担当）  <input checked="" type="checkbox"/> 笈田 麻美 （保護者）  <input checked="" type="checkbox"/> 吉岡 真紀 （障害児相談支援事業所 うーたん）  <input type="checkbox"/> 陣内 隆行 （湘南国際アフタースクール）  <input checked="" type="checkbox"/> 加藤 美穂 （ちがさき学童保育の会）  <input checked="" type="checkbox"/> 大澤 大輔 （シダックス大新東ヒューマンサービス）  <input type="checkbox"/> 白石 真由美 （学校教育指導課）  <input checked="" type="checkbox"/> 中村 知里 （障がい福祉課） </p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 棚橋 利恵 （部会事務局：相談支援センター つみき）  <input checked="" type="checkbox"/> 檜物 加奈子 （部会事務局：相談支援センター つみき） </p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 池元 佑輔 （オブザーバー：障がい福祉課） </p> <p style="text-align: right;"><input checked="" type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席</p>
議 題	1 参加者自己紹介/各所属業務内容 2 前部会「未就学児の相談のしくみ部会」の取り組み 3 部会の目的や方向性の確認 4 就学後の相談のしくみやその他の課題の共有 5 今後の取り組みについて 6 その他
検 討 内 容	1 参加者自己紹介 現在の所属や担当している主な業務などを各々が説明した。 2 前部会「未就学児の相談のしくみ部会」の取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前の相談は関わる機関が多く、様々なルートがあった。部会で顔が見える関係になり、また、相談の流れをフローチャート化することで、各機関の役割を理解し、スムーズに連携することができるようになった。</li> </ul>

	<p>3 部会の目的や方向性の確認</p> <p>(1) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達の支援が必要な就学児について、福祉サービス等の支援に繋がるまでの流れを整理する。</li> </ul> <p>(2) 方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援につながりにくい通常級のお子さんに焦点を絞り、関係機関の現状、役割を把握する。最終的には、保護者や支援者にも相談の流れがわかりやすく伝わるためのフローチャートを作成する。</li> </ul> <p>4 就学後の相談のしくみやその他の課題の共有</p> <p>(1) 保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常級入学後も、つみきに相談していた。巡回指導、通級指導、スクールカウンセラーなど、全て利用した。当時巡回指導が年4回あり、相談しやすかった。通常級に通う保護者の中には「障害児」と捉えたくない方も多く、相談先を伝えてもつながらない場合が多かった。</li> </ul> <p>(2) ちがさき学童保育の会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年々、気になるお子さんが増え、対応が難しくなっている。学校のクラスでは問題なく過ごしており、保護者の障害理解も難しい。クラス担任と連携をとる、特別支援学校の巡回相談などで対応している。</li> </ul> <p>(3) シダックス大新東ヒューマンサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・診断のあるお子さんが各クラブ1～3名在籍。集団行動、勉強が苦手な気になるお子さんは10人中1人程度。エリア指導員がシダックス所属臨床心理士に相談し、お子さんの見立てをし、過ごしやすいうアドバイスをもらっている。学校によって連携できるところもある。</li> </ul> <p>(4) 教育センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校以外でのお子さんの様子を聞くことは、多方面からその子を捉えることができる貴重な機会。連携は随時行っている。教育のしくみの中の相談先としては「通級指導」「巡回相談」「SSW」(学校教育指導課管轄)、「青少年教育相談」「あすなろ教室」「SC」(教育センター管轄)がある。不登校児に対し、学校に戻すことが目的ではなく、居場所を作り自尊心を高める支援を行っている。</li> <li>・低学年では障害を認めたくない思いが強く、なかなか相談につながらないが、高学年になり巡回相談につながるが多い。支援につなぎたいが、つなげられない現状がある。各学校に「心の教育相談員」が配属されている。(4日/W)</li> </ul>
--	---

	<p>(5) 障がい福祉課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月数件件、通常級児からの放デイなどサービス利用の相談がある。受給者証発行の要件は、手帳または発達検査結果などとなっている。</li> </ul> <p>5 今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回話題に挙がった相談先等の情報を整理し、分かりやすい表にして次回定例会で共有する。</li> <li>・今後、SSW にも参加していただき、通常級で支援が必要なケースの教育と福祉の連携について、実情を把握し、仕組みづくりへつなげる。</li> </ul> <p>6 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育センターより、県の取り組みとして、気になるお子さんを見逃さないよう、学校でのアンケート、スクリーニングを通し、全ての子どもの困難を確実にキャッチし、支援する仕組み「かながわ子どもサポートドック」の紹介。</li> <li>・次回定例会は 9 月 20 日（金）10 時～ 市役所で開催予定。</li> </ul>
--	--